

令和5年度

宮城大学

研究・共創フォーラム

令和5年

9月14日(木)

13:30 - 16:30

宮城大学は、地域への研究シーズの発信や、様々なステークホルダーとの連携を推進する拠点として、「研究推進・地域未来共創センター」を令和3年4月に設立いたしました。

本学の研究シーズや地域との共創事例を紹介し、地域の自治体や企業・団体・医療機関等の皆様とのさらなる連携の機会を創出することを目的に、「令和5年度宮城大学研究・共創フォーラム」を開催いたします。

参加無料

開催形式

ハイフレックス形式(対面+オンライン)

対面 宮城大学大和キャンパス交流棟2階 PLUS ULTRA-

オンライン ZOOMウェビナー

※新型コロナウイルス感染症の状況等により
オンライン開催のみとなる場合があります。

参加定員

対面 50名 オンライン 200名

※対面、オンライン共に定員に達し次第締め切らせていただきます。

申込締切

令和5年9月8日(金) 17:00

プログラム

1. 開会あいさつ
2. 情報提供
3. 基調講演
4. パネルセッション
5. 研究・共創事例の発表
6. 閉会あいさつ



公立大学法人

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

プログラム詳細、参加方法等は裏面をご覧ください➡

13:30 - 13:35

開会あいさつ

学長 佐々木 啓一

13:35 - 13:50

情報提供「共創の場の取組について」

理事・副学長 研究推進・地域未来共創センター長 風見 正三

13:50 - 14:30

基調講演「SDGsと地域活性化～統合と転換のコーディネート」

武蔵野大学工学部 サステナビリティ学科/環境システム学科 教授・学科長 白井 信雄 氏

14:30 - 14:45

パネルセッション

14:55 - 16:25

研究・共創事例の発表

- (1) みやぎテレナースの取組による地域看護人材の育成
看護学群 教授 金子 さゆり
- (2) 環境負荷低減化のための食行動に関する大学生の意識
- 宮城大学生を対象にしたアンケート調査 -
看護学群 教授 谷津 裕子
- (3) 災害レジリエンス研究を基盤とした南三陸町での震災復興漁村の空間構成
事業構想学群 教授 平岡 善浩
- (4) 水田からの温室効果ガスの排出削減に向けた現地試験
事業構想学群 教授 千葉 克己
- (5) 閉上赤貝のブランド再生による持続可能な漁業への貢献
食産業学群 教授 西川 正純
- (6) 栄養塩等を継続的に供給可能な藻場ブロックによるブルーカーボン生態系の構築
食産業学群 教授 北辻 政文

16:25 - 16:30

閉会あいさつ

理事長 佐野 好昭

発表者の
研究内容はコチラ

宮城大学シーズ集



参加方法

申込期限 令和5年9月8日(金) 17:00

下記URLまたは右記QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/DpjKXvCZyhR4xB7u7>



お問合せ先

宮城大学研究推進・地域未来共創センター
担当: 萩野 庄子

TEL: 022-377-8319

E-mail: renkei-kouza@myu.ac.jp